

新訂

法然上人

絵伝

法然上人の伝記中、最も浩瀚であり先行する諸伝を集大成した『法然上人行状絵伝』（浄土宗総本山知恩院蔵・国宝）の詞書を、著者の長年にわたる法然伝研究の成果をもとに、新たに校訂を施した本文と、簡潔な語注によって提供する平成版定本。法然上人の生涯を原文で味わえる一冊。

なかい・しんこう：一九四三年滋賀県生。大阪大学大学院文学研究科博士課程（国史学専攻）修了、文学博士（佛教大学）。佛教大学文学部教授、佛教大学学長を経て、現在、学校法人佛教教育学園理事長。「主要著書」『日本古代の仏教と民衆』（評論社）、「日本古代仏教制度史の研究」（法蔵館）、「行基と古代仏教」（永田文昌堂）、「朝鮮と日本の古代仏教」（東方出版）、「法然伝と浄土宗史の研究」（思文閣出版）、「日本の名僧の念仏の聖者 法然」（編 吉川弘文館）。「法然絵伝を読む」（思文閣出版）、「法然上人絵伝集成」①②③（監修 浄土宗）、「絵伝にみる法然上人の生涯」（法蔵館）

〔縮見本〕（縮小）

法然上人行状画図 第廿九

比叡山西塔の南谷に、鐘下房の少輔とて聡敏の住侶ありけり。弟子の児にをくられて眼前の無常におどろき、交衆ものうくおほえければ、三十六のとし遁世して上人の弟子となり、成覚房幸西と号しけるが、浄土の法門をもとならへる天台宗にひきかれて、迹門の弥陀、本門の弥陀といふことをたて、「十劫正覚といへるは迹門の弥陀なり。本門の弥陀は無始本覚の如来なるがゆへに、我等所具の仏性とまたく差異なし。この謂をさく一念にことたりぬ。多念の遍数はなほだ無益なり」といひて、「念義といふ事を自立しけるを、上人、この義善導和尚の御心にそむけり、はなはだしかるべからざるよし、制しおほせられるを、承引せずして、なをこの義を興じければ、わが弟子にあらずとて擯出せられにけり。

〔第一図〕

兵部卿三位基親卿、ふかく上人勸進のむねを信じて、毎日五万遍の數遍をこ

〔成覚房幸西邪見の一念義を立てて門徒を擯出せられし事〕をくれ、先立たれる交衆、学徒との交わり
迹門の弥陀・本門の弥陀 乘迹（十劫正覚）の弥陀と、本地（無始本覚）の弥陀
十劫正覚 弥陀は十劫の昔に本願を成就して仏となつた
無始本覚 久遠の昔に成道し本性を具えた眞の仏
仏性 仏としての本性
謂 理由、わけ
一念義 一念でも往生できるといふ教え
擯出 追放する

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	新訂 法然上人絵伝	本体2,800円(税別)	ISBN978-4-7842-1654-3	
お名前		tel			
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)				

本書HPのQRコード

書店番線印

A5判・五〇〇頁
定価 二、九四〇円
(税5%込)
ISBN978-4-7842-1654-3
【二〇一二年九月刊行】

※法然伝と浄土宗史の研究

中井真孝著

思文閣史学叢書

都市的な顔と田舎的な体を具有する浄土宗の性格が形成された過程を「法然上人伝」「中世浄土宗寺院」「近世本末関係」を軸に解明する待望の論集。

【内容】法然上人伝の研究／中世浄土宗寺院の研究／近世本末関係の研究

▶A5判・430頁／定価9,240円

ISBN4-7842-0861-5

大本山くろ谷 金戒光明寺 宝物総覧

浄土宗大本山くろ谷金戒光明寺発行

法然上人の『一枚起請文』をはじめ、日本浄土教の祖師である恵心僧都が描いたとされる「山越阿弥陀図」「地獄極楽図」や彫刻したとされる「鑿おさめ如来」、玄奘訳『称赞浄土仏撰受経』などいずれも学界、宗教界に寄与する宝物約570点をFMSクリーン高精細印刷による、オールカラーの大型図版で後世に残す。

▶A4判変・516頁／定価29,400円

ISBN978-4-7842-1564-5

吉備と京都の歴史と文化

水野恭一郎著

佛教大学鷹陵文化叢書3

岡山と京都の歴史を多岐にわたり探求してきた諸論考を収録。

【内容】吉備地方の歴史と文化(美作国誕生寺／法然上人とその時代／嘉吉の乱と井原御所 ほか)／京都古寺探訪(知恩院塔頭良正院の草創／小野門跡と日野薬師 ほか)／歴史と人物(楠木正行の生涯／足利義教の將軍継嗣と後南朝の動向／石田梅岩と石門心学 ほか)

▶A4判・320頁／定価1,995円

ISBN4-7842-1052-0

※西山浄土教の基盤と展開

五十嵐隆幸著

日本仏教を基盤に日本浄土教の祖師や、浄土宗の開祖法然の浄土教義、さらに門弟の證空や行観を中心に西山教義をまとめる。「旧仏教・新仏教」「正統仏教・異端仏教」といった対立構造ではなく、浄土教義を軸に日本文化を継承創進する仏道として、日本仏教の姿を構成する試み。

▶A5判・308頁／定価4,200円

ISBN978-4-7842-1529-4

観経疏之抄 玄義分 中

豊田元彦監修／西山禅林学会発行

浄土宗叢書 第1巻

国師が善導大師の『観経疏』を講述した際、門弟である観鏡證入(1195-1244)が筆録した『他筆抄』といわれる文献の影印研究。時宗総本山遊行寺に蔵される南北朝時代とされる現存最古写本を底本に、天文5年(1536)の書写奥書をもつ大谷大学図書館蔵本を対校本とする。

▶B5判・205頁／定価5,250円

ISBN978-4-7842-1593-5

禿氏文庫本

大取一馬責任編集

龍谷大学善本叢書29

龍谷大学大宮図書館所管の「禿(とく)氏(し)文(ぶん)庫(こ)」は龍谷大学名誉教授禿氏祐祥博士寄贈の文庫である。その内容は、梵文経典や中国・日本の仏書をはじめ、真宗史・仏教美術に関する典籍、絵画等多岐にわたっており、総数2300余点に及ぶ。その中から善本に値するものを選び、影印として1冊にまとめる。

▶A5判・674頁／定価14,700円

ISBN978-4-7842-1539-3

中世文化と浄土真宗

今井雅晴先生古稀記念論文集編集委員会編

常に日本中世宗教史研究を先導してきた、筑波大学名誉教授・今井雅晴先生の古稀を記念して、国内のみならず海外にもおよぶ幅広い層の研究者が、親鸞と浄土真宗史研究の進展を期した最新研究28本を寄せた大冊。

▶A5判・654頁／定価13,650円

ISBN978-4-7842-1636-9

日本の社会と真宗

千葉乗隆編

龍谷大学・本願寺史料研究所で千葉乗隆先生の学恩を受けた人々による、真宗史研究における史料・寺院・信仰などのさまざまな課題に取り組んだ成果13篇を収録。【執筆者】千葉乗隆・藤井利章・岡本敏行・高橋事久・日野照正・藤原正己・木村壽・直林不退・濱岡伸也・朝枝善照・知名定寛・左右田昌幸・高島幸次・北野裕子

▶A5判・285頁／定価6,825円

ISBN4-7842-1009-1

法然伝承と民間寺院の研究

平祐史著

近世社会において、民間の浄土宗寺院はどのような変化をとげてきたのか。日本各地の民間寺院に伝わる開創・宗祖伝承や地名、史料等の考察を通じて、浄土宗教義の変容や民俗信仰との関わり合いを明らかにし、歴史民俗と浄土教学史という双方の立場から、民間寺院における近世化の実態に迫る。

▶A5判・444頁／定価9,450円

ISBN978-4-7842-1534-8

浄土宗西山派と三鈔寺文書

大山喬平解説

京都大学文学部博物館の古文書 第9輯

京都大学文学部国史研究室所蔵の古文書の中からテーマ毎に編集、代表的なものを写真で紹介し、その解説・釈文を付すシリーズ。関係史料や地図・表なども併載し、古文書の研究と鑑賞に資す。

【内容】慈鎮和尚建曆目録／山城国司源師国彦／無動寺慈円坊政所下文／後村上天皇論旨／二尊院住持善空等請取状／細川藤孝書状など

▶B4判・32頁／定価2,100円

ISBN4-7842-0733-3

権者の化現 天神・空也・法然

今堀太逸著

佛教大学鷹陵文化叢書15

日本国の災害と道真の霊・六波羅蜜寺の信仰と空也・浄土宗の布教と法然伝の3部構成で、仏・菩薩が衆生を救うためにこの世に現れた仮の姿について明かす。

【内容】「天神」日本国の災害と道真の霊／「空也」六波羅蜜寺の信仰と空也／「法然」浄土宗の布教と法然

▶A4判・312頁／定価2,415円

ISBN4-7842-1321-X

仏教思想と浄土教

水谷幸正著

学・行・信の課題に応じて研鑽を積まれた著者永年の業績を集成。

【内容】第1篇 仏教思想研究／第2篇 如来蔵思想と浄土教研究／第3篇 浄土教思想研究／第4篇 導空二祖の浄土教研究

▶A5判・728頁／定価12,600円

ISBN4-7842-0989-1

般舟讚私講

大塚靈雲著

善導の著書五部九巻のなかで『観経』の注釈『観経疏』を除けば、その他の四部五巻のなかで、とりわけ『観経』そのものについて解説しているのはこの『般舟讚』である。『観経』一經の經説の次第を踏んで讀みあげる『般舟讚』を、善慧房證空・西山上人の著書『般舟讚自筆鈔』等に依拠しながら、私訳私講を試みる。

▶A5判・540頁／定価3,675円

ISBN978-4-7842-1530-0

典籍と史料

大取一馬責任編集

龍谷大学仏教文化研究叢書28

1961(昭和36)年、親鸞聖人大遠忌記念事業の一環として開設された、龍谷大学仏教文化研究所の研究者陣による、真宗学・仏教学・史学・国文学等の分野にまたがる広汎な仏教文化の最新研究成果。【内容】『伊勢物語』業平成立時代について／式子内親王歌の本質／西光と地藏菩薩／後鳥羽院の新古今撰集について／神道歌学の成立 ほか

▶A5判・680頁／定価8,925円

ISBN978-4-7842-1592-8

蓮如上人研究

蓮如上人研究会編

蓮如上人500回遠忌を記念し、上人から学ぼうとする人々のおもいを集めて編まれた論集。根本義など教学上の問題にとどまらず、北陸・近江・四国や中国地方などの各地のつながり。伝記、民俗からみた蓮如上人、更には真宗寺院建築の特色や上人の作庭など、幅広いテーマを扱って読み易く書かれた、蓮如上人の真実の姿を伝える有意義な書。

▶A5判・492頁／定価10,500円

ISBN4-7842-0961-1

太子信仰と天神信仰 信仰と表現の位相

武田佐知子編

聖徳太子信仰・天神信仰の比較研究。各専門分野の研究者による、両信仰に関わる美術史、文学史、宗教史、芸能史的研究を集成し、時代のニーズとともに変化する信仰の形態や、それに付随するイメージの付与、そして宗派や地域を越えて多面的に利用されるそれぞれの信仰の進形について明かす。

▶A5判・354頁／定価6,825円

ISBN978-4-7842-1473-0

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。

電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。